

令和7年度 消防本部 経営計画書

職・氏名	経営方針	経営資源			
消防長 川部 敬司	<p>●使命 私たち消防本部は、「市民が安心して暮らせる災害に強い安全な都市瀬戸内」を目指し、きめ細やかで地域に密着した消防行政を行います。</p> <p>●基本方針 ①消防団を中心とした地域防災力の向上を図り、広報強化に努めます。 ②消防施設の充実・強化に努めます。 ③的確・迅速な現場対応に向けた指令業務の充実強化を図ります。 ④各事業所の防火・救急意識の向上を図ります。 ⑤総合的消防力の強化を図ります。</p>	所管課	総務課 警防課 予防課 通信指令室 消防署		
 <p>人と自然が織りなす しあわせ実感都市 瀬戸内市 然が織りなす しあわせ実感都市 瀬戸内</p>	人 員	正職員	会計年度 任用職員	合計	
		83人	人	83人	
	一般会計	1,173,574 千円			
	特別会計	千円			
	計	1,173,574 千円			
	(うち人件費)	(632,589 千円)			

重点項目	内容	成果目標	進捗状況(9月末)
1 消防団を中心とした地域防災力の向上、消防団の広報強化	消防団員数の増加を図るため、今年度より新設した広報担当を中心にPR活動を行います。	団員定数450名に対して充足率93%を目標に入団を促進します。	9月1日で充足率88.8%となっています。秋の防火パレードや各種イベント等を活用し入団促進を図っていきます。
	消防力を強化するため、機能低下した消防団車両(邑久東分団第3部、牛窓分団第2部)の更新を図ります。	令和7年度末までに更新を行い、活動力・士気の向上を図ります。	10月末には中間検査を行う予定です。引き続き仕様書どおり車両が納車されるように、事業を進めていきます。

重点項目	内容	成果目標	進捗状況(9月末)
2 消防施設の充実・強化	非常用電源及び受発電設備の更新・移転事業、消防団訓練施設整備事業、トイレ整備事業など多くの事業が重なるが、消防業務が停滞することができないように計画的に行います。	全ての事業が年度内に完了するように進めていきます。	8月にトイレ整備事業は完了しました。現在、非常用電源及び受発電設備の更新・移転事業と消防団訓練施設整備事業を並行して行っています。業者との打ち合わせを行いながら、消防業務が停滞しないように進めています。
3 指令業務の充実強化	新システムの有効利用により、情報伝達速度の向上を目指します。	工期延長しましたが早期完成を目指したうえで、指令台新機能の詳細分析を行い、出動隊とよりよい連携が取れるようマニュアル化して指令室員の情報伝達の平準化を行います。	延長工期12月26日までの完成目途が立ち、11月11日には新システムへ緊急通報回線を切り替え仮運用を開始する予定です。現在、仮稼働で動作確認等ができる範囲の詳細機能解析を行っています。マニュアル作成に向け、情報伝達や操作方法などをとりまとめている最中です。
4 各事業所における防火・救急意識の向上	防火対象物への立入検査時に設置されている消防設備を有効的に活用できるよう操作訓練を実施。消防設備の正しい使い方をマスターしてもらい防火意識の向上に努めます。また、合わせて応急手当の基礎知識チラシを配布し重要性を伝えています。	今年度、事業所(200箇所)において、立入検査を実施すると共に、操作訓練、救急意識の向上に向け、緊急時の対応について実施します。	立入検査状況は、予定通り実施し、現在は113件実施済となっています。成果目標に掲げている消防設備の操作手順も防火管理者だけではなく、従業員等にも周知できています。また、救急に対する知識もパンフレットを作成し、立入検査時には、いざという時の対応についても、広報ができます。引き続き、成果目標を達成できるよう業務を遂行しながら、事業所への啓発も継続していきます。
5 総合的消防力の強化	水難や大規模な林野火災、特殊災害等多岐に渡る災害に対応するため他機関との連携を図ります。 火災原因調査の技術及び知識の向上を図り、効果的な火災予防対策に務めます。	海上保安庁や近隣消防、また市民との連携を図る訓練を年5回以上実施します。 研修会を年6回以上実施し、火災の原因調査に関する想定訓練を2回行います。	水害を想定した図上訓練を県危機管理課と合同で5月に、海での水難事故を想定した訓練を海上保安庁等と合同で7月に、交通事故を想定した救助訓練を近隣消防と合同で9月に実施しました。 火災原因調査担当者を中心に調査要領の内容を検討、実際の火災調査時に他専門機関と合同で2件の合同鑑識を実施、原因の究明と知識の共有を図りました。

重点項目	内容	成果目標	進捗状況(9月末)
5	<p>複雑多様化する災害や、大規模災害に備え救助工作車の更新を図ります。</p> <p>救急救命士の教育として、病院実習及び救急研修会等への参加を積極的に行います。また、救急救命士を中心とした救急隊の教育、指導、訓練を行います。</p>	<p>令和7年度末までに更新を行い、新資器材の取扱訓練を実施します。</p> <p>瀬戸内市民病院及び市外救急二次病院への病院実習を行い、知識の習得や病院スタッフとの顔の見える関係を構築し救急業務を円滑に行います。各種救急研修会等へ積極的に参加し、最新の知識を習得します。</p>	<p>入札、契約を終え、車両及び資機材の期限までの納入に向けた打合せ会議を順調に進めています。</p> <p>市外救急二次病院の病院実習を、5月に岡山西大寺病院、9月に岡山旭東病院で実施しました。実習を通じて、専門的な知識や技術を習得するだけでなく、スタッフとの情報共有を図ることができました。</p> <p>月に一度の三次医療機関による救急勉強会に参加したほか、二次医療機関で開催される研修会や web 勉強会にも積極的に参加しました。</p>